

## 池田市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の概要

教育の質を支える「教育職員の健康」「働きがい」を確かなものにするために

計画期間  
令和8年度～令和11年度

## 1. 校種別に見る現状と多忙化の課題

## 小学校・義務教育学校（前期課程）の状況

年間時間外在校等時間（R6実績）

344.2 h

既に目標値（360 h）に近い水準  
月45h超の経験者：46.5%

## 中学校・義務教育学校（後期課程）の状況

年間時間外在校等時間（R6実績）

536.8 h

5人に1人が年間720hを超過  
月45h超の経験者：76.2%中学校では部活動指導の影響で時間外在校等時間が多くなる傾向。  
長時間勤務者が一定数いることから、業務の平準化や個々の職員の状況に応じた支援が必要。

## 2. 達成目標

重点項目

目標（R11末まで）

年間の時間外平均（全校）

R6実績：[小]344.2 h / [中]536.8 h

360時間以内

年間720時間超の人数

R6実績：[小]8人 / [中]35人

0人

年次有給休暇取得日数

R6実績：全校平均 10.5日

16日以上

仕事へのやりがい（偏差値）

R6実績：全校平均 57 / 全国平均 50

60以上

## 3. 具体的措置（業務の3分類）

## ①学校・教師以外が担うべき業務

登下校・夜間見守りの地域連携。部活動の地域移行（R10完了）。  
公営民営プールの活用による管理業務軽減。

## ②支援体制の強化

教員業務支援員の全校配置を継続。  
専門職（SC・SSW）と教育職員が連携・協働した支援体制を構築し、業務の心理的・量的負担を軽減。

## ③校務のDX化と環境整備

校務DX（調査回答・保護者連絡等）の推進。標準授業時数を大幅に上回る場合の適正化。  
会議・行事の精選による空き時間の確保。

## 4. 関連する取組み・今後のフォローアップについて

## ①医師面接指導

単月100時間、複数月平均80時間を超えた教育職員の医師面接を徹底。

## ②校長評価への削減実績反映

「720時間超ゼロ」の目標達成度を校長評価に反映し、経営意識を向上。

## ③休息確保

年次有給休暇のまとめ取得推進。定時退勤日（水曜日）、部活動休養日（平日1日・休日1日）、学校園閉庁日を継続実施。

## ④月次勤務状況のモニタリング

改善が見られない学校に対し、教育委員会が速やかに改善指導・支援を実施。

## ⑤実施状況の確認

毎年度、教育委員会会議や総合教育会議へ実施状況を報告。